

2015 年度各事業計画・報告・2016 年度事計画（案）

2015 年度海外事業計画	2015 年度海外事業報告	2016 年度海外事業計画（案）
<p>I. 支援事業～インド</p> <p>1：女性グループメンバーによる縫製技能研修と経済的自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タミルナドゥ州カンピリアンパティ地区 120 名を対象</li> <li>・縫製技能向上、雇用の拡大、加工製品の拡大と販路開拓</li> <li>・縫製組合制度の方策づくり</li> </ul> <p>2：補習クラス運営による教育環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タミルナドゥ州ナッタム地区 6 か村 140 名の児童を対象</li> <li>・専任教員 6 名を採用して毎夕、学校の復習、宿題の指導</li> <li>・持続的なクラス運営のための制度づくり</li> </ul> <p>3：環境保全ならびに有機農業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タミルナドゥ州トッパンパティ地区 2 か村での 2 年目事業</li> <li>・治水工事、有機農法研修と普及、参加型有機認証制度の導入</li> </ul> <p>4：教育ローン、ヤギローン制度導入による女性グループ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タミルナドゥ州ニラコタイ地区 24 名を対象</li> <li>・ローン制度運営のための会計業務研修、事務局員の採用</li> </ul>	<p>I. 支援事業～インド</p> <p>1：女性グループメンバーによる縫製技能研修と経済的自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続事業 4 年目として基礎縫製受講者 72 名、加工雇用 15 名</li> <li>・服飾工場 5 社から定期縫製受注により工賃を得、安定収入</li> <li>・運営の基盤整備、安定化により支援終了</li> </ul> <p>2：補習クラス運営による教育環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・131 名の児童が受講、進級率 100%、出席率 97%であった</li> <li>・スポーツ大会など課外活動を開催し活動規範の向上に貢献</li> <li>・次年度の継続運営のための受講料徴収を親と協議したが不調</li> </ul> <p>3：環境保全ならびに有機農業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水工事が計画の 80%が終了、有機農法研修に 220 名参加</li> <li>・モデル有機農家 30 名選出、農産物試食会を開催 175 名が参加</li> </ul> <p>4：教育ローン、ヤギローン制度導入による女性グループ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育ローンでは 30 名が貸付を受け、ヤギローンでは 12 名</li> <li>・事務局員の雇用により業務は安定化、給与も捻出が可能となる</li> </ul>	<p>I. 支援事業～インド</p> <p>1：環境保全ならびに有機農業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タミルナドゥ州トッパンパティ地区 2 か村での 3 年目事業（最終年）</li> <li>・治水工事完了、有機農法研修と普及、植林</li> <li>・参加型有機農産物認証制度への参加農家 30, 計 60 農家</li> </ul> <p>2：教育ローン、ヤギローン運営の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育ローン利用者：35 名、ヤギローン利用者 12 名</li> </ul> <p>3：女性グループを対象にしたエンパワーメント（新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タミルナドゥ州マドライ地区メラカル村</li> <li>・50 名の女性を対象にした縫製技術研修</li> </ul> <p>4：貧困削減をめざした農業基盤整備と生活環境改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タミルナドゥ州サナルパティ地区 S. バラス村、マーマラットゥパティ村、2 か村での新規事業、調査、提案書策定、申請＜外務省＞</li> </ul>
<p>II. 支援事業～インドネシア</p> <p>1：スンバ島での有機農業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機肥料づくり研修、他地域への普及活動</li> <li>・農業生産物数の拡大と技能研修</li> <li>・支援事業の中・長期計画の策定</li> </ul>	<p>II. 支援事業～インドネシア</p> <p>1：スンバ島での有機農業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カダハン村では給水パイプ支援をおこない野菜づくりが促進</li> <li>・現地 NGO と活動計画を協議、給水機器の開発と支援を確認</li> </ul>	<p>II. 支援事業～インドネシア</p> <p>1：スンバ島での有機農業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユブワイ村にて野菜作り研修</li> <li>・ムバタプ村にて井戸建設及び野菜作り研修</li> </ul> <p>2：スンバ島での植林推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸地域にて環境保全と漁獲量向上のためのマングローブ植林</li> <li>・内陸部では、所得向上を目指したカカオ、バナナ、白檀の植林</li> </ul> <p>3：スンバ島での給水機器開発</p>
<p>III. 海外交流事業～インド</p> <p>1：スタディツアーの開催（8 月、3 月、2 回）</p> <p>2：マイクロ・ファイナンスの現場を訪ねるツアー開催（8 月）</p> <p>3：北インド・ソーシャルビジネスツアー開催（3 月）</p>	<p>III. 海外交流事業～インド</p> <p>1：応募が定員に達せず中止（2 回）</p> <p>2：2 ツアーを実施（日本大学ゼミ生 15 名）、一般参加 4 名） 8 月 1 日～11 日（日本大学ゼミ生）8 月 28 日～9 月 8 日</p> <p>3：ツアー内容を有機農業研修に変更、南インドで開催 8 名参加 2016 年 2 月 21 日～27 日</p>	<p>III. 海外交流事業～インド</p> <p>1. スタディツアーの開催（8 月、2 月、2 回）</p> <p>2 ソーシャル・ビジネスツアーの開催（9 月、1 回）</p>

2015 年度国内事業計画	2015 年度国内事業報告	2016 年度国内事業計画（案）
<p>I. 支援者拡大</p> <p>1: 企業、大学との連携活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャル・ビジネスの分野でのインドでの活動の共有</li> <li>・企業の社会貢献活動へ国際協力プログラムの提案</li> <li>・大学での国際協力分野での現場紹介と経験値の共有</li> </ul>	<p>I. 支援者拡大</p> <p>1: 企業、大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアーの事前研修会にてインドでの状況、活動の紹介</li> <li>・物品収集活動が国際協力に活かされていることを紹介（1社）</li> <li>・現場からの学びを紹介（中央大学、北海道教育大学2校）</li> </ul>	<p>I. 支援者拡大</p> <p>1: 企業、大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物品収集活動の企業の拡大（10社）</li> <li>・大学での開発現場の紹介（5大学）</li> <li>・NGO、企業ネットワークを活用して企業へ連携協力（5社）</li> </ul>
<p>II. 啓発活動の充実</p> <p>1: 学習会・講座の企画、開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インドでの国際協力フィールド調査のための研修</li> <li>・海外ツアー報告会を兼ねて国際協力セミナー開催</li> <li>・マイクロファイナンス、ソーシャルビジネスセミナー開催</li> </ul>	<p>II. 啓発活動の充実</p> <p>1: 学習会・講座の企画、開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地スケジュールの関係で実施できなかった</li> <li>・報告会が開催されず、セミナーは実施しなかった。</li> <li>・ツアー参加者向けに事前研修会でセミナーを実施した</li> </ul>	<p>II. 啓発活動の充実</p> <p>1: 学習会・講座の企画、開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インド、デバトール事業の成果と課題報告会</li> <li>・開発現場でのフィールド調査入門講座の開催</li> </ul>
<p>III. ネットワーキング</p> <p>1: ボランティア・センターとのネットワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LIFEの事業成果、事例報告による経験値の共有</li> <li>・大学のボランティア・センターとの連携による国際協力推進</li> </ul> <p>2: スタディツアー研究会との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報面でのプログラムの紹介</li> <li>・スタディツアー担当者に向けた危機管理研修の開催</li> <li>・NGO、大学、旅行会社との連携によるツアーの地位向上</li> </ul>	<p>III. ネットワーキング</p> <p>1: ボランティア・センターとのネットワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ボランティア・センターとは広報依頼のみとなった</li> <li>・情報誌の提供のみとなった。関係性の構築が課題</li> </ul> <p>2: スタディツアー研究会との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー紹介サイトでの協力を継続的に実施</li> <li>・危機管理研修の案内を各NGOに配信</li> <li>・ツアー運営担当者の研修会に参加。事故緊急対応策を実施</li> </ul>	<p>III. ネットワーキング</p> <p>1. ボランティア・センターとのネットワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学ボランティア・センターとの協働（5大学）</li> <li>・東京VC、ちよだVCとの共同プログラムの開催</li> </ul> <p>2: スタディツアー研究会との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの充実による情報発信</li> <li>・NGO担当者向け危機管理研修の開催</li> <li>・大学生向けスタディツアー危機管理研修の開催</li> </ul>

2015 年度会員事業計画	2015 年度会員事業報告	2016 年度会員事業計画（案）
<p>I. 会員獲得</p> <p>1: 会員獲得目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正会員（個人）40名、正会員（団体）3団体、賛助会員100名</li> <li>・旧会員の掘り起こしと勧誘の広報活動の実施</li> <li>・継続を高めるための共感を呼ぶ依頼状同封</li> <li>・寄付協力者を会員に勧誘する方策</li> </ul> <p>2: 会員活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30周年記念プレイベントを開催</li> <li>・イベントをとおしての会員交流の場を設定</li> </ul>	<p>I. 会員獲得</p> <p>1: 会員数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正会員（個人）27名、正会員、団体1団体、賛助会員55名、マンスリーサポーター6名（現在加入会員数）</li> <li>・募金キャンペーン時に併せて勧誘広報、成果2名</li> <li>・メッセージ付き依頼状送付、成果なし</li> <li>・定期的な会報送付時の案内に留まった</li> <li>・募金の新規は多数あり。新規会員獲得には至らない。</li> </ul> <p>2: 会員活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30周年記念事業実行委員会を結成、プログラムの検討を行う</li> <li>・4月の花見、農に親しむ田植え（5月）、稲刈り（9月）実施</li> </ul>	<p>I. 会員獲得</p> <p>1: 会員数目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正会員（個人）40名、（個人）3団体、賛助会員70名</li> <li>・募金キャンペーンに合わせての会員募集</li> <li>・30周年記念事業に併せての会員募集</li> <li>・寄付協力者から会員への勧誘</li> <li>・マンスリーサポーターの勧誘</li> </ul> <p>2: 会員活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30周年記念事業開催を契機に会員活動促進</li> <li>・定期イベントへの参加案内く花見、グロフェス、田植、稲刈</li> </ul>

2015 年度組織強化計画	2015 年度組織強化報告	2016 年度組織強化（案）
<p>I. 組織整備</p> <p>1：年次総会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告、事業計画案審議、役員改選</li> <li>・インドネシア、スンバ事業の展望を紹介</li> </ul> <p>2：各種委員会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会/運営委員会開催</li> </ul> <p>3：認定 NPO 法人取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請のための諸規約の見直し</li> </ul> <p>4：資金調達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員継続の向上、新規会員獲得のための方策づくり</li> <li>・オンライン募金の促進と募金者のフォローアップ</li> <li>・会費自動引き落としの利用の促進</li> <li>・新たなファンドレイジング手法の研究、実践</li> <li>・クリスマス・年末募金、夏季ひまわり募金キャンペーンの実施</li> </ul> <p>5：広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の効率化の促進</li> <li>・ホームページによる広報</li> </ul> <p>6：通信機器、情報発・受信機器環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の情報管理の点検と会費引き落とし業務の機器の改善</li> <li>・通信機器利用による効率化の推進</li> <li>・ホームページのリニューアル化</li> <li>・PCによる広報メディアの機能面の充実化</li> </ul>	<p>I. 組織整備</p> <p>1：年次総会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員改選：任期満了退任 2 名、新任 3 名＜承認＞</li> <li>・現地視察報告を中心に出張した職員が紹介</li> </ul> <p>2：各種委員会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月22日、7月11日、9月16日、11月18日に開催</li> <li>・30周年記念行事実行委員会 12月12日、1月16日、2月13日、3月26日に実施</li> </ul> <p>3：認定 NPO 法人取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アカウンタビリティ・セルフチェックと併せて諸規定を点検、次年度に申請</li> </ul> <p>4：資金調達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼状送付、広報用パンフレットの作成</li> <li>・募金者への会報、会員プログラムの送付</li> <li>・会費の自動引落集金会社の変更と調整中</li> <li>・新たなファンドレイジング手法の研究、実践 着手できず</li> <li>・目標額 200 万円で 69.95%達成、ひまわり募金は、ネパール緊急支援募金として実施、目標額 100 万円で 55.68%達成</li> </ul> <p>5：広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メルマガの定期発信</li> <li>・イベント、海外スタディツアー告知を配信</li> <li>・ブログやフェイスブックで事業地の様子を随時報告</li> </ul> <p>6：通信機器、情報発・受信機器環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの取り換えによる環境改善(1台)</li> <li>・WindowsXP 2台、Windows Vista 1台、Windows7 3台、ノート・モバイルPC Windows7 2台</li> <li>・会計ソフト(弥生会計)を購入、14年ぶりに更新、来期使用予定</li> <li>・会員管理ソフト導入には至らず(8年未更新)</li> <li>・新たな機器の導入によってリニューアル化が促進</li> <li>・広報担当者の研修参加によってメディアの改善が促進</li> </ul>	<p>I. 組織整備</p> <p>1：年次総会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月28日開催、30周年記念事業と併せて開催</li> </ul> <p>2：各種委員会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な開催により活動の活発化を図る</li> </ul> <p>3：認定 NPO 法人取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請に向けて諸規定の検討を図り、提出書類の整備をする</li> </ul> <p>4：資金調達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなファンドレイジングの方法による募金活動</li> <li>・クリスマス・年末募金キャンペーンの実施</li> <li>・夏季募金キャンペーン＜熊本地震被災者救援募金を予定＞</li> <li>・会費の自動引落集金会社、切り替え作業の完了</li> </ul> <p>5：広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メルマガの定期発信</li> <li>・イベント、海外スタディツアー告知を配信</li> <li>・ホームページのリニューアル。不要な情報を省く。スマホ対応。</li> <li>・ブログやフェイスブックで事業地の様子を随時報告</li> </ul> <p>6：通信機器、情報発・受信機器環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WindowsXP、Vista 3台の処分、買い替えまたは処分検討</li> <li>・Windows7の10への無料更新の検討、</li> <li>・会員管理ソフトがWindows7に未対応のため新規ソフト検討</li> </ul>

<p>●2015 年度 物品寄付 33 団体、個人協力 155 名から物品寄付を受領。</p> <p>【団体名、個人名は非公開】</p>	<p>●物品寄付 受け入れ総量・金額 未使用切手 33,963 円／通信費使用または換金 使用済切手 48,975.5 g /買取寄付によって換金 郵便ハガキ 5,137 枚／通信費使用または切手換金 金券等 96 枚／換金または事務局使用 文房具 5 箱分／ネパールへ 3 箱、インドネシアへ 2 箱送付 インドネシア外貨 約 2,005 円／1rp=100 円無指定寄付として受領</p> <p>●切手仕分ボランティア参加団体 4 団体、個人協力 3 名が仕分ボランティアに参加</p> <p>協力団体： 株式会社 エム・シー・コミュニケーションズ 株式会社アートコーヒー 株式会社 Melk Melk 川崎 Office 株式会社ティーガイア 以上</p> <p>●使用済切手 買取り協力者 今村 京市、摂津 順子の 2 名が買取り協力</p> <p>●イベント参加 「グローバルフェスタ JAPAN2015」 開催日：2015 年 10 月 3 日(土)～10 月 4 日(日) 会場：お台場・センタープロムナード公園 主催：外務省、国際協力機構、国際協力 NGO センター 共催 内容：活動紹介および物品販売ブース、飲食店ブースに出展</p> <p>「ちよだアドベンチャーツアー」 開催日：2015 年 10 月 10 日(土) 会場：法政大学 外堀校舎 主催：千代田区社会福祉協議会 法政大学 ACI プロジェクト 共催 内容：インド文化紹介としてチャイ提供、活動紹介のスライド</p> <p>「ふれあい満点市場」 開催日：2016 年 2 月 13 日 会場：飯田橋 ラムラ 1F 主催：東京ボランティアセンター 内容：物品販売と活動紹介</p>	<p>●指定寄付物品販売 インドネシア小物販売 9,900 円売上。募金 9 割割賦のため、8,910 円は小物制作者のインドネシアのジャワ島地震被災者へインドネシア担当の古賀を通じて送金。</p> <p>●国際理解教室 開催日：2015 年 5 月 15 日(金) 会場：千代田区富士見会館 参加者：愛知県犬山市犬山中学校 修学旅行生 6 名 内容：インドでの国際協力活動の紹介、インドの文化紹介等</p> <p>●啓発活動による講師派遣 開催日：2015 年 6 月 10 日(水) 会場：非公開 参加者：会社等関係者 内容：物品収集活動が国際協力に活かされていることを紹介</p> <p>開催日：2015 年 6 月 23 日(月) 会場：中央大学 経済学部 参加者：中央大学 経済学部 林ゼミ 内容：LIFE 現場からの学びを紹介</p> <p>開催日：2015 年度 12 月 18 日(金) 会場：北海道教育大学 函館校 参加者：北海道教育大学 学生 内容：LIFE 現場からの学びを紹介</p> <p>●インターン受け入れ 名前：加藤 瑞紀 期間：2015 年 4 月～2015 年 9 月末 内容：インドにて現地インターン</p> <p>名前：鈴木淑子 期間：2015 年 10 月～ 継続中 (任期は 2016 年 9 月末まで) 内容：インドにて現地インターン</p> <p>●ボランティア受け入れ 長期ボランティア 1 名(切手仕分除く)、短期ボランティア約 15 名</p>
--	--	---

